

発行所・責任者：(一社) 山口県安全運転管理者協議会 ☎083-973-1578

〒754-0002 山口県山口市小郡下郷 3560 番地 2 (山口県総合交通センター内)

[責任者] 高山龍夫 [奇数月/10日発行] <https://www.yamaguchi-ankan.or.jp/>



県内の交通事故

2月29日現在 ※()内は前年同期

発生

335件(378)

[増減] -43件

死者

4人(8)

[増減] -4人

傷者

388人(458)

[増減] -70人

4月の目標

- 春の全国交通安全運動(6日~15日)
- 新入学児童・園児との交通事故防止
- こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 高齢者の交通事故防止

実施事項

- ▶ 地域の交通安全運動への積極的な参加
- ▶ 生活道路走行時のこどもへの警戒
- ▶ 新入社員(若年ドライバー)への安全教育
- ▶ こどもとの事故防止対策の実践
- ▶ 横断歩道での歩行者優先意識の徹底

5月の目標

- 春の行楽期の交通事故防止
- 自転車との交通事故防止
- シートベルトの着用確認の徹底
- エコドライブの実践



実施事項

- ▶ 無理のない運行計画による安全運転の確保
- ▶ 無事故・無違反コンテストへの積極的な参加
- ▶ 全席シートベルトの着用の徹底
- ▶ 自転車の危険行動の周知
- ▶ エコドライブの具体的指導

自転車事故防止を徹底しよう

1 ルールを守らない自転車の存在を周知しよう

車と自転車との事故は、自転車側の交通違反により発生しているものも多いため、ルールを守らない自転車がいることを従業員に周知しましょう。

2 自転車運転時のヘルメット着用を推進しよう

自転車乗車時には、ヘルメット着用が努力義務化されています。通勤等で自転車を利用する従業員にはヘルメット着用を推進しましょう。

3 電動キックボードに注意しよう

電動キックボードはバランスを崩しやすいほか、運転者が交通ルールを十分に理解していない場合もあります。見かけた場合は十分注意しましょう。

県下統一行動日

- 4月5日(金)、5月7日(火)
「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
- 4月8日(月)
「こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践」を呼びかける日
- 4月9日(火)
「歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行」を呼びかける日
- 4月10日(水)
「交通事故死ゼロ」を目指す日

- 4月15日(月)
「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日
- 5月9日(木)
「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日

安管統一行動日

- 5月15日(水)
「シートベルト等の着用」を呼びかける日
- 5月20日(月)
「スピードダウン」を呼びかける日
- 5月24日(金)
「飲酒運転根絶」を呼びかける日

月間行事計画

- 4月12日(金)：表彰審査委員会
- 5月14日(火)：監査
- 5月24日(金)：決算理事会

エコドライブのチェックアドバイス ～ふんわりアクセル「eスタート」～

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう(最初の5秒で、時速20km程度が目安です)。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。エコドライブは、環境にも経営にもやさしい何よりも、交通事故防止につながります

交通安全スローガン

住みよい山口 いつも心に 交通安全

令和6年度月別活動重点

年間推進重点 6本柱

- 子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運動の励行
- スピードダウンの推進
- 反射材・ハイビームの活用促進
- シートベルト等の着用を徹底
- 高齢者の交通事故防止

月	活動重点	実施事項	備	考			
4	・春の全国交通安全運動（6日～15日） ・新入児童・園児との交通事故防止 ・子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践 ・歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行 ・高齢者の交通事故防止	・地域の交通安全運動への積極的な参加 ・子どもとの事故防止対策の実践 ・生活道路走行時の子どもへの警戒 ・横断歩道での歩行者優先意識の徹底 ・新入社員（若年ドライバー）への安全教育	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(金)			
			●「子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践」を呼びかける日	8日(月)			
			●「歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行」を呼びかける日	9日(火)			
			●「交通事故死ゼロ」を目指す日	10日(水)			
			●「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日	15日(月)			
・表彰審査委員会（12日・金）							
5	・春の行楽期の交通事故防止 ・自転車との交通事故防止 ・シートベルトの着用確認の徹底 ・エコドライブの実践	・無理のない運行計画による安全運転の確保 ・無事故・無違反コンテストへの積極的な参加 ・自転車の危険行動の周知 ・全席シートベルトの着用の徹底 ・エコドライブの具体的指導	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	7日(火)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(火)			
			◆「シートベルト等の着用」を呼びかける日	15日(水)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	20日(月)			
			◆「飲酒運転の根絶」を呼びかける日	24日(金)			
・監査（14日・火） ・決算理事会（24日・金）							
6	・梅雨期の安全対策 ・追突事故の防止 ・災害時の安全運転管理	・雨天走行時の危険の周知 ・交差点付近での追突事故防止の指導 ・気象情報のチェックと運行可否の判断	◆業務用車両一斉点検	3日(月)			
			●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(水)			
			◆「エコドライブ」を呼びかける日	7日(金)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	20日(木)			
			・エコドライブ研修会（1日・土）				
・総会（12日・水） ・事務局長会議（14日・金）							
7	・夏の交通安全県民運動（11日～20日） ・子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践 ・歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行 ・高齢者の交通事故防止	・生活道路での減速と危険予測の徹底 ・夜間・カーブ・市街地等の安全な走行指導 ・夏休みの子どもとの交通事故防止 ・横断歩道での歩行者優先意識の徹底 ・前照灯のこまめな切り替え指導	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(火)			
			●「子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践」を呼びかける日	11日(木)			
			●「歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行」を呼びかける日	12日(金)			
			●「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日	19日(金)			
			●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(月)			
8	・二輪車の安全な乗り方の指導 ・ドライバーの健康管理の徹底	・コースアウト4(し)ない運動の実践 ・出発前の確実な疲労チェック ・無理のない運行計画による安全運転の確保	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(月)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(金)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	21日(水)			
			◆街頭立哨「事務所付近」	2日(月)			
			◆「エコドライブ」を呼びかける日	6日(金)			
9	・秋の全国交通安全運動（9月10日間） ・子どもと高齢者の交通事故防止 ・交通パートナーに配慮した運転	・地域の交通安全運動への積極的な参加 ・子どもと高齢者に対する「思いやり運転」の実践 ・高齢者の行動特性を理解した運転の実践 ・高齢ドライバーに配慮した運転の指導	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(月)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	18日(水)			
			●「交通事故死ゼロ」を目指す日	30日(月)			
			・エコドライブ研修会（21日・土）				
			・会長 ・事務局長会議（15日・金）				
10	・ライトを活用しての薄暮・夜間の交通事故防止	・早め点灯とハイビームを基本とした運転の実践 ・早朝・薄暮時の歩行者への事故防止指導 ・夜間等のスピードダウン運転の指導 ・日没時刻とライト点灯時間の周知	◆街頭立哨「事務所付近」	1日(火)			
			●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	7日(月)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(水)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	23日(水)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	11日(月)			
11	・高齢者の交通事故防止県民運動（9日～15日） ・高齢者の交通事故防止 ・高速道路での安全運転の指導 ・点検・整備と車両管理の推進	・速度を控えゆとりある運転の指導 ・高齢者等を守る気運の醸成 ・高速道路での危険予測と回避措置の指導 ・車両管理体制の見直し ・冬季に向けた車両整備の準備	●「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日	15日(金)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	20日(水)			
			◆「確実な安全確認」を呼びかける日	29日(金)			
			・会長 ・事務局長会議（15日・金）				
			・「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日				
12	・年末年始の交通安全県民運動（12月～1月25日間） ・飲酒運転ゼロの推進	・年末年始の交通安全県民運動への積極的な参加 ・飲酒運転の危険性の再確認 ・酒気残存運転の防止 ・飲酒運転はしない・させない・許さない	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(木)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(月)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	18日(水)			
			◆「飲酒運転の根絶」を呼びかける日	20日(金)			
			◆スリップ防止措置の点検	6日(月)			
1	・年始の交通事故防止 ・事業所の安全運転テーマの設定 ・冬道運転の基本の指導	・職場と個人の年間安全運転目標の設定 ・降雪・凍結時の安全運転の指導 ・路面凍結の危険箇所の周知 ・コースアウト4(し)ない運動の実践	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	9日(木)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	22日(水)			
			●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(水)			
			◆業務用車両一斉点検	10日(月)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	10日(月)			
2	・運転者の健康管理の徹底 ・安管未選任事業所の一掃	・朝礼・点呼時の健康チェックの強化 ・運転者のストレス等への配慮 ・未選任事業所に対する届出の勧奨	●「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日	5日(水)			
			◆業務用車両一斉点検	10日(月)			
			●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	10日(月)			
			●「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日	15日(土)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	26日(水)			
3	・高齢者の交通事故防止県民運動（9日～15日） ・運転管理支援ツールの活用 ・マイカー通勤の事故防止	・子ども・高齢者に対する「思いやり運転」の実践 ・子ども・高齢歩行者を守る気運の醸成 ・ドライブレコーダーを活用した指導 ・新入社員（若年ドライバー）への指導体制の整備	●「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日	10日(月)			
			●「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日	15日(土)			
			◆「スピードダウン」を呼びかける日	26日(水)			
			・予算理事会（下旬）				

【山口県の交通安全の日】 ・ 県民交通安全の日【毎月1日、但し4月と1月は8日に実施】
 ・ 「横断歩道ハンドサイン運動推進」の日【毎月5日】
 ・ 反射材・ハイビーム活用促進の日【毎月9日】
 ・ 高齢者の交通安全日【毎月15日】
 ・ 交通事故死ゼロを目指す日【4月10日(水)・9月30日(月)】

※ ●は県下統一行動日
 ※ ◆は安管統一行動日

安管選任事業所従業員による交通死亡事故の発生状況

～ 令和5年中の交通事故死者数5人（前年比+3人）～

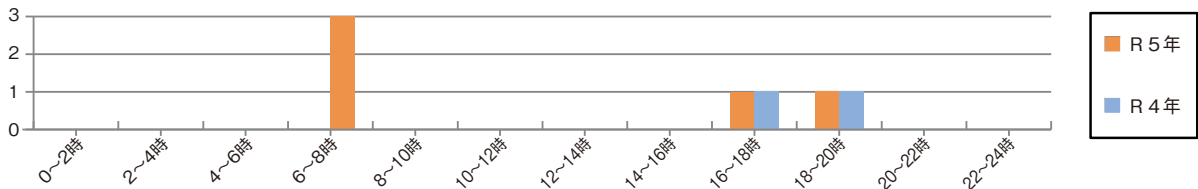
令和5年中の山口県内の交通事故死者数については、令和4年の31人を上回る35人でした。安管選任事業所従業員が関与した交通事故死者数は、5人で前年比+3人の増加となりました。時間帯別の発生では、6～8時に3人、16～18時と18～20時にそれぞれ1人となって

います。運転者の年代別では30歳代1人、40歳代3人、50歳代以上が1人となっており、通行目的では、出勤時が3人（前年比+3人）、私用中が2人（前年比±0人）であり、出勤時の死亡事故が増加しました。事故の要因としては、歩行者妨害、前方不注視が発生しています。

1 発生状況（令和4年中）

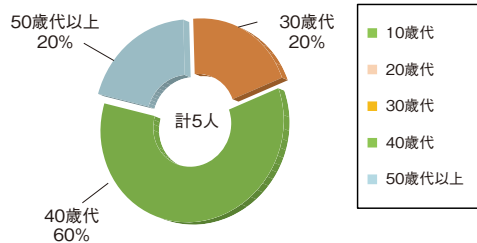
区分	山口県内		安管選任事業所		死者数の比率
	人身事故件数	死者数	人身事故件数	死者数	
R5年	2,269	35	315	5	15.2%
R4年	2,261	31	348	2	6.7%
増減	+8	+4	-33	+3	

2 時間帯別



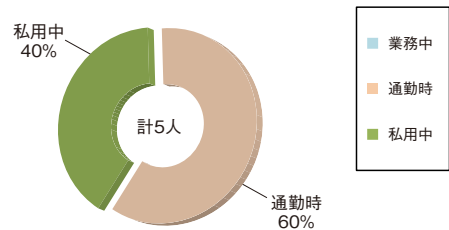
区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	計
R5年				3					1	1			5
R4年									1	1			2

3 運転者の年代別



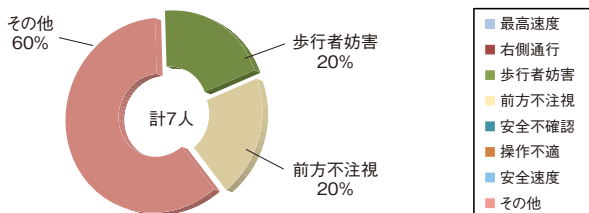
区分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	計
R5年			1	3	1	5
R4年		1			1	2

4 通行目的



区分	業務中	通勤時	私用中	計
R5年		3	2	5
R4年			2	2

5 違反別



区分	最高速度	右側通行	歩行者妨害	全運転義務違反				その他	計
				前方不注視	安全不確認	操作不適	安全速度		
R5年			1	1				3	5
R4年			1					1	2

増加した死亡事故の3件は、いずれも出勤中です。

マイカー通勤の実態を把握するため「マイカー通勤申請書」を提出させましょう。申請書を提出させる際は、通勤経路の危険箇所マップや安全運転宣言を付記させるなど、従業員の安全意識を高めるようにしましょう。

交通事故防止DVDの貸し出し

県安管では、各(地区)協議会会員の交通事故防止に資するため、会員に対するDVDの貸し出しを行っています。貸し出せるDVD枚数はそんなに多くありませんが、各事業所での交通事故防止活動に活用していただきたいと思っています。貸し出しのDVDは一覧表のとおりです。

貸し出しDVD一覧表

(一社)山口県安全運転管理者協議会

区分	山 口 県 内	安管選任事業所	時間
1	誰でもできるエコ運転術	CO2排出軽減による地球温暖化対策、エコ運転による交通事故防止等	20分
2	もっと減らせる交通事故	プロの運転者の交通事故防止に対する配慮事項について解説	23分
3	運転者の心得と義務	ドライバーが常識として知っておかなければならない義務と責任、安全運転の知識を解説	25分
4	ここが大切 安全運転	安全運転は「こころ」、どんなに運転が「たくみ」でも事故は防げない、「こころ」のあり方を解説	25分
5	どう防ぐ、高速道路事故	高速道路で事故を起こすと、死亡事故につながる大惨事となります。交通事故防止のカギは、危険予測と安全確認です。	23分
6	心に刻め 命にスベアはないことを	運転の基本である「見る」「判断」「アクセル操作・ハンドル操作・ブレーキ操作」をいかに的確に行うか、事例を踏まえ解説	22分
7	災害時、ドライバーはどう生き残るか	いつ起きてもおかしくない巨大地震、津波、火災そのときドライバーはどう危険を回避し生き残るか、そのための知恵と行動を説明	28分
8	危険を予測・回避するポイント 命はひとつ	交通事故で重度の後遺障害を負った方、その家族の姿を通して、事故の恐ろしさと命の大切さを訴える	25分
9	注意一秒 怪我一生	事故経験者からの、事故はどうして起きたのか、どうすれば防ぐことができたのかを検証し、事故防止に役立つポイントを学ぶ	26分
10	あなたの運転 再チェック	普段から安全運転に心がけているというドライバーの運転を、運転指導のプロが分析し、「しているつもり」の安全運転を解説	25分
11	セルフコントロールで事故防止	性格別に起こしやすい事故事例とアドバイスを中心に展開、自分の癖や欠点を補い、事故を未然に防ぐことができるか、タイプ別に解説	21分
12	従業員の交通事故と企業リスク	社有車を運転するにあたってしておかなければならない従業員の交通事故と企業リスクについて解説。	22分
13	奪われた夢 危険への想像力で事故を防ぐ	事故を他人事として考えず、いつどんな状況においても「危険への想像力」をもって運転することにより、交通事故を防ぐ	24分
14	事故を起こさないための運転行動	運転中、交通事故を防ぐため「もしかしたら」と考え、交通状況に応じた危険を予測していれば突発的な状況に対応できる	20分
15	潜む危険を予測・回避せよ ある会社員の交通事故	「誰だってよけられずに事故を起こしますよ」でも、本当に交通事故は避けられなかったのか	22分
16	交通事故ゼロへの決意 あなたと会社を守る	事業所にとって従業員の交通事故は事業所経営を揺るがす高いリスクです。本人だけでなく、事業所、使用者にも影響が・・・	24分
17	業務運転中の事故を防げ 交通事故を起こす4つのケース	業務運転中に起きた事故は、当事者である従業員だけでなく、会社も責任を負うことになり、会社経営に大きな打撃を与え、企業の存立を脅しかねません。	22分
18	償いの十字架	自らが一度は交通事故の被害者側に立ながら、今度は自分自身が交通死亡事故を起こし、その事故の波紋は大きく、双方の家庭は崩壊してゆく。	27分
19	「自分ルール」を見直す ～初心に戻って安全運転～	運転に慣れてくると、慎重だったはずの安全確認がルーズになったり、守るべき交通ルールを軽く考えるなど、いつの間にか自分に都合のいい「自分ルール」を作ってしまう。	20分
20	一瞬の過ち失われた未来	この作品は、ある女子大生が自転車で事故を起こしたことにより、順風満帆だった人生が一変した様子を描き、事故の悲惨さと自転車も乗り方を間違えれば凶器となり得ることを強く訴えている。	21分
21	パパは風になった	1人のドライバーの不注意によって引き起こされた死亡事故、突然一家の大黒柱を失い、絶望の淵からもがき苦しみながら、必死に立ち上がろうとする親子。そして加害者に背負われる重い十字架。	30分
22	夢を奪ったハンドル	交通死亡事故を起こし、実刑判決を受け刑務所に収容された受刑者の反省の声をタテ軸に、残された被害者の家族の悲しみの生活を捉えながら、私たちは加害者にも被害者になってはいけないことを訴えている。	26分
23	ベテランドライバーこそ要注意!	ベテランドライバーは、「自分は運転が上手い」という過信から、独自の安全基準で判断していることはないだろうか。忘れがちな安全運転のポイントをもう一度再確認するための教材。	18分
24	こうして潰せ! ヒューマンエラー	「急ぎ」「思い込み」「油断」「疲労」……これらドライバー自身の「心の死角」がヒューマンエラーを招きます。自分は大丈夫だと思っていませんか。	20分
25	対話形式でわかる! 交通事故における 企業・ドライバーの責任	交通事故は、被害者・ドライバーだけではなく企業にも大きな損失を与えます。安全運転と管理の徹底を心がけ、会社と従業員、その家族を守りましょう。	23分

各(地区)安管協議会の活動状況



～令和5年「年末年始の交通安全県民運動」実施結果～

各(地区)安管協議会の「年末年始の交通安全県民運動」期間中における活動の一部を紹介します。



下松安管

下松安管では、年末年始の交通安全県民運動期間中、高齢者を対象に交通安全教室を開催し、高齢者の交通安全に対する意識向上を促すとともに高齢者宅を訪問して、年末年始の交通事故防止と詐欺被害防止を呼びかけました。



周南安管

周南安管では、会員が交通安全環境の整備のため、市内のカーブミラーの点検・清掃活動を行いました。また、駅前において「飲酒運転根絶&くっきりアップ作戦」と称して、帰宅中の歩行者、自転車・車両運転者に対して、飲酒運転根絶と反射材活用を呼びかけました。



防府安管

防府安管では、「年末年始の交通安全県民運動」期間中、交通安全キャンペーンとして、市内の大型商業施設において市安全会議・警察・交通安全協会と共同で買い物客に対して、交通安全チラシ・反射材等を配付し、交通事故防止を呼びかけました。



山口・阿東地区、山口南安管

山口・阿東地区、山口南安管では、県トラック協会が主催した「交通安全ラッピングトラックのデザイン・イラストコンテスト」の募集に協賛し、コンテスト入賞者への表彰式とラッピングトラック出発式に参加、トラックドライバーの交通事故防止意識の高揚を図りました。



宇部安管

宇部安管では、事件・事故のない明るい年末年始を迎えるため、関係団体・機関と連携して「年末年始交通安全県民運動出発式」と「自動車パレード」を行い、市民の交通安全に対する気運を盛り上げました。また、市内の商業施設において、安管事業所の若手ドライバーが買い物客にチラシ等を配付し交通事故防止を呼びかけました。



山陽小野田・厚狭地区安管

山陽小野田・厚狭地区安管では、「自転車のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底」を図るためのキャンペーンとして、市内の高校において、学生の自転車乗車時のヘルメット着用や交通ルールの遵守を呼びかけました。また、市内大型商業施設やドライブインにおいて、飲酒運転根絶や高齢者の交通事故防止を呼びかけました。



下関・彦島地区安管

下関・彦島地区安管では、「年末年始の交通安全県民運動」期間中の取り組みとして、市内大型商業施設において、街頭キャンペーンを実施しました。キャンペーンでは、参加者が「交通安全運動実施中」の幟旗を掲げて、通行車両や買い物客に交通安全を呼びかけました。

～地区協議会員が交通安全学習館の交通安全カリキュラムを受講～



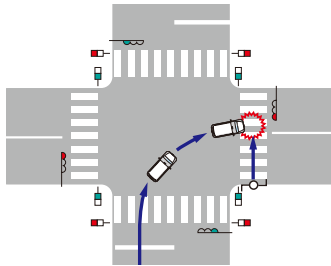
下松安管

下松安管では、会員事業所から交通安全学習館における交通安全カリキュラムの受講希望者を募り、5事業所13名にカリキュラムを受講してもらいました。受講者からは「今後の自分の運転や従業員の安全運転管理や教育に役立てたい」との声をいただきました。

横断歩道における交通事故防止と子供の行動特性

事故の概要

某日午後3時ころ、某市の国道において、60歳代女性が運転する軽四乗用車と、横断歩道を横断中の小学生が衝突し、数日後に小学生が死亡する交通事故が発生しました。



道路状況等

- 駐車禁止
- 交差点 (信号機、横断歩道あり)

問題点

- 軽四乗用車の運転者は、交差点を右折する際、横断歩道上の安全確認を怠り漫然と進行したため、横断中の小学生に気付くのが遅れ、衝突したものです。

安全運転管理のアドバイス

子供は状況判断能力が未発達であるため、交通事故に遭わないよう、あらゆる機会を通じて交通安全教育を受けて育ちますが、子供の特性は様々であり、大人に教わった交通ルールを忠実に守って横断しようとしている子供もいれば、そうでない子供もいます。

これから入園入学の時期を迎え、不慣れな道を通学する子供も増加しますので、安全運転管理者として、子供の交通行動上の特性をしっかりと理解した上で、今一度、事業所の運転者に対し、「横断歩道等における歩行者優先ルール」の徹底をお願いします。

1 横断歩道や交差点通行時のポイント

(1) 横断歩道等は歩行者優先

- 横断歩道等の手前での減速

横断歩道等に歩行者等がないことが明らかでない時は、その手前で停止できるように横断歩道等の手前で減速しなければなりません。

- 横断歩行者等がいる場合の一時停止

横断歩道等に歩行者等がいる場合には、横断歩道等の手前で必ず一時停止し、歩行者等の横断を待ちましょう。

(2) 飛び出しや死角に注意

子供は身体が小さいことから、電柱や看板、道路脇のちょっとした物陰に隠れてしまい、発見しにくくなります。そのため、物陰等から横断歩道等に子供が飛び出してくるかもしれないと警戒心を持って子供の発見に努めることが重要です。

また、交差点を右折する際は、交差点中央に寄った後、横断歩道に対して直角に曲がることで、横断歩道の安全確認が容易になります。ピラーに隠れた死角は、身体を動かして目視確認するよう癖付けましょう。

2 子供の特性

(1) 交差点での右折車・左折車に対する警戒心が乏しい

信号機のある交差点では、右左折車も横断歩道を横切ることになりますが、小さな子供には、そのような自動車の通行ルールが理解できていない場合も少なくありません。突然近づいた自動車に驚愕し、転倒したり、駆け出したりすることも考えられるので、安全確認をしっかりと行い、横断歩道に性急に近づくことがないようにしましょう。

(2) 友達や同伴者がいると警戒心が乏しくなる

普段は慎重な行動をとる子供であっても、道路の向こう側に友達がいたり、家族などの同伴者がいたりする場合は、「道路を渡りたい」という気持ちが優先し、通行車両等の動静に注意が向かなくなりがちです。友達や家族が一緒の場合でも、「突然横断するかもしれない」「こちらに気づいていないかもしれない」と警戒し、突然の行動に備えた防衛運転を心掛けましょう。

(3) 状況判断能力が未発達

通常大人は、近づいてくる車両の速度や距離、自分との位置関係を考慮し、危険な状況であるかどうかを判断しますが、子供はこれら判断能力が未発達であることから、危険な状況であっても、飛び出しや危険行動をする可能性があります。また、外見上、左右を見ている、ただ興味のある物に注意をひきつけられていたり、見たい物を見ているだけかもしれない、安全確認を行っているとは限りません。

3 終わりに

各事業所によっては、異動期を迎えるところもあり、慌ただしい時期ではありますが、事例のような小学生が被害となる悲惨な交通事故が起きないように、「横断歩道等は歩行者優先」のルールが事業所に浸透するよう、安全運転管理を徹底していただきますようお願いいたします。

山口県の交通事故発生状況

1 1月末の交通事故発生状況

区分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数	物損事故発生件数
令和6年1月末	168	2	196	3,084
令和5年1月末	201	3	243	2,949
前年比	-33	-1	-47	135

2 横断歩道横断中の死者及び負傷者

区分	死者数	負傷者数
令和6年1月末	0	15
令和5年1月末	1	14
前年比	-1	1

3 安管事業所従業員が主原因となった交通事故の発生状況 (私用中の事故を含む)

区分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数
令和6年1月末	19	1	22
令和5年1月末	32	1	36
前年比	-13	0	-14
構成率	11.3%	50.0%	11.2%

*構成率は、全人身事故発生件数に占める安管事業所従業員が主原因を作った交通事故件数

令和6年交通安全 年間スローガン

- 抜け道と 思うな そこは通学路
- 車だけ? 交通ルールは 皆のもの
- しんごうき あおでもかくにん わすれない

山口県交通安全協会・山口県安全運転管理者協議会

5月の目標

- 春の行楽期の交通事故防止
 - 自転車との交通事故防止
 - シートベルトの着用確認の徹底
 - エコドライブの実践
 - 県下統一行動日
 - 「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
 - 「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日
 - 安管統一行動日
 - 「シートベルト等の着用」を呼びかける日
 - 「スピードダウン」を呼びかける日
 - 「飲酒運転の根絶」を呼びかける日
- 242015
日 日 日
日 日 日
(金) (月) (水)
- 9 7
日 日
(木) (火)

山口県交通安全協会

4月の目標

- 春の全国交通安全運動(6日～15日)
 - 新入学児童・園児との交通事故防止
 - 子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
 - 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
 - 高齢者の交通事故防止
 - 県下統一行動日
 - 「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
 - 「子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践」を呼びかける日
 - 「歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行」を呼びかける日
 - 「交通事故死ゼロ」を目指す日
 - 「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日
- 1510 9 8 5
日 日 日 日
日 日 日 日
(月) (水) (火) (金)

山口県安全運転管理者協議会